

令和6年度

要 覧



愛知県総合教育センター

〒470-0151 愛知県愛知郡東郷町大字諸輪字上鉢 68

TEL 庶務課 (0561) 38-2211
企画管理課 (0561) 38-2214
経営研究室 (0561) 38-9503
教科研究室 (0561) 38-9504
企画研修室 (0561) 38-9506
基本研修室 (0561) 38-9507
教育相談研究室 (0561) 38-2217
特別支援教育相談研究室 (0561) 38-9517

FAX (0561) 38-2780

URL <http://www.apec.aichi-c.ed.jp/>

農業教育共同実習所

〒446-0066 愛知県安城市池浦町丸田 172-1

TEL (0566) 76-4071 FAX (0566) 77-3477

URL <https://apec.aichi-c.ed.jp/agri/agri.htm>

設置目的

愛知県総合教育センターは、本県における教育の振興を図るため設置され、次の事業を行う。

- 1 教育に関する専門的、技術的事項の研究に関すること。
- 2 教育関係職員の研修に関すること。
- 3 教育相談に関すること。
- 4 教育に関する情報の収集及び提供に関すること。
- 5 生徒の実習に関すること。

(愛知県総合教育センター条例)

昭和 49 年 7 月 24 日 条例第 38 号

[沿革] 平成 11 年 3 月 23 日 条例第 33 号改正

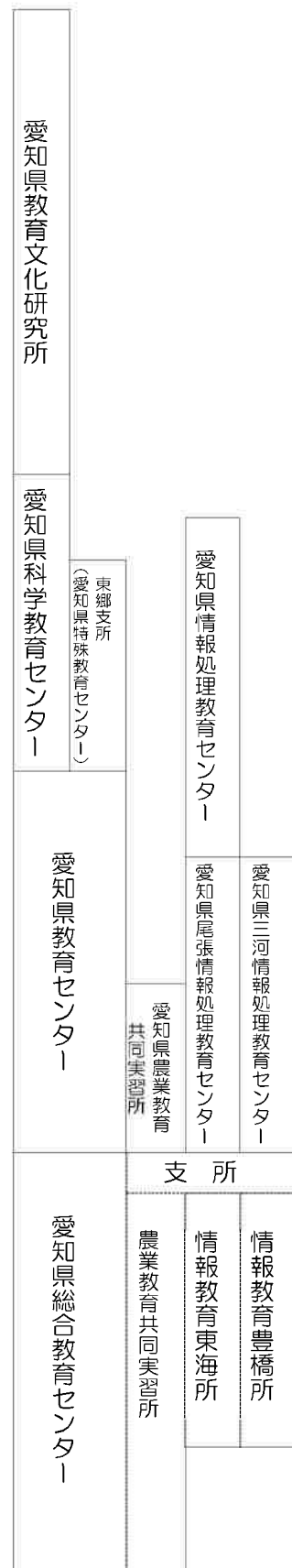
平成 12 年 3 月 28 日 条例第 46 号改正

目次

* 沿革	1
* 組織	2
* 事業概要	
教育研究調査事業	3
教育関係職員研修事業	5
教育相談事業	14
教育情報収集・提供事業	15
生徒実習事業	16
その他	17
* 施設概要・案内図	18

沿革

- 昭和23年 6月 告示第421号をもって愛知県教育文化研究所規程制定、事務所を県庁内に設置
- 23年11月 愛知県教育委員会設置に伴い同委員会に所管換え
- 25年 3月 愛知県教育委員会規則第1号、第2号によって愛知県教育文化研究所処務規程及び同規則改正
- 31年10月 愛知県営造物条例の一部改正により名古屋市千種区に「愛知県教育文化研究所」設置を明記
- 38年12月 愛知県条例第35号により愛知県科学教育センター条例公布
愛知県営造物条例の一部改正により愛知県教育文化研究所廃止
- 39年 1月 名古屋市東区白壁町に「愛知県科学教育センター」開設
- 46年 4月 東海市に「愛知県情報処理教育センター」開所
- 49年 5月 愛知県条例第23号により愛知県科学教育センター条例の一部改正施行
東郷町に「東郷支所（愛知県特殊教育センター）」開所
- 49年 8月 愛知県教育センター全館建築工事完了
- 49年 9月 愛知県科学教育センター廃止
- 49年10月 愛知県条例第38号により愛知県教育センター条例施行
「愛知県教育センター」開所
- 50年10月 愛知県情報処理教育センターを「愛知県尾張情報処理教育センター」に改称
豊橋市に「愛知県三河情報処理教育センター」開所
- 57年11月 安城市に「愛知県農業教育共同実習所」開所
- 平成11年 4月 愛知県条例第33号により、愛知県教育センター条例の一部改正施行
「教育放送に関する」事業の廃止
- 12年 4月 愛知県条例第46号により、愛知県教育センター条例の一部改正施行
「愛知県教育センター」を「愛知県総合教育センター」に改称
「愛知県情報処理教育センター条例」及び「愛知県農業教育共同実習所条例」を廃止し、その機能を愛知県総合教育センターに移管
- 19年 3月 情報教育東海所及び情報教育豊橋所廃止
- 令和 2年 3月 情報教育部廃止



組 織

所 長	総 務 部	庶 務 課 (0561)38-2211 (0561)38-2212	<ul style="list-style-type: none"> ・文書及び公印の管守に関する事。 ・職員の人事及び福利厚生に関する事。 ・予算、会計及びその他庶務に関する事。 ・その他の部及び課の主管に属しない事。
		企 画 管 理 課 (0561)38-2214 (0561)38-2215	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の総合調整に関する事。 ・広報に関する事。 ・学校事務職員等の研修に関する事。 ・土地、建物、付属設備及び物品の保全管理に関する事。 ・大学との連携に関する事。
次長兼 総務部長	研 究 部	経 営 研 究 室 (0561)38-9503	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課題の研究に関する事。 ・教育情報の収集及び提供に関する事。 ・教育史の編さん及び教育史資料室の運営に関する事。
		教 科 研 究 室 (0561)38-9504	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の行う研究の指導助言に関する事。 ・教科の研究に関する事。 ・図書資料室の運営に関する事。〔図書資料室：(0561)38-9513〕
研 修 部	企 画 研 修 室 (0561)38-9506	基本 研 修 室 (0561)38-9507	<ul style="list-style-type: none"> ・研修事業の企画調整に関する事。 ・教科及び教育課題の研修に関する事。 ・大学院等への派遣研修に関する事。
		農 業 教 育 共 同 実 習 所 (0566)76-4071	<ul style="list-style-type: none"> ・農業教育にかかる生徒の実習に関する事。 ・農業教育の研修に関する事。
	相 談 部	教 育 相 談 研 究 室 (0561)38-2217	<ul style="list-style-type: none"> ・児童及び生徒の教育相談の実施に関する事。 ・児童及び生徒の教育相談の研究及び研修に関する事。 ・教育関係職員相談の実施に関する事。
		特 別 支 援 教 育 相 談 研 究 室 (0561)38-9517	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする幼児児童生徒の教育相談の実施に関する事。 ・特別な支援を必要とする幼児児童生徒の教育相談の研究に関する事。 ・特別支援教育の研究及び研修に関する事。

教育研究調査事業

学校の現状に即した教育課題及び教育行政上の今日的な課題を把握して、学校・教育委員会各課との連携の下に、中・長期的な展望に立って、それぞれの課題に応えるための先導的な研究を進め、学校における教育実践の充実に寄与する。

そのために、実態調査・課題把握、研究実践、成果の普及・還元という見通しをもって研究を進める。

1 令和6年度教育研究調査事業一覧

領域	番号	研究主題	研究内容	研究形態
教育課程及び学校の諸課題	1	主体的に社会の形成に参画する態度の育成に関する研究	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度、規範意識、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度などを養う。	所内研究
	2	自ら学ぶ力の育成に関する研究	子供たちが「学びの楽しさ・よさ」を実感するという観点の下、今までの学校の教育活動やその手だて等を再検討・再構成することによって、子供たちの「自ら学ぶ力」を向上させることを目的とする。特に、「学びの楽しさ・よさ」を実感させるための手だてや、子供たちが「自ら学ぶ力」を発揮していることを見取る方法について探ることで、子供たちの学びの質の向上につなげていく。	共同研究 (協力校・大学連携)
	3	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための探究的な授業づくりに関する研究	児童生徒が、習得・活用・探究の学びの過程の中で自ら課題を見つけ、仲間と協働して解決したり、新たな考えを形成したりするなど、探究的・創造的な活動をする授業を通して、学校の教育目標の実現を図る。	所内研究 (協力校・大学連携)
	4	特別な支援を必要とする子どもの卒業後の生活へのスムーズな移行に関する研究	特別な支援を必要とする子どもの卒業後の生活が充実するための仕組みについて研究を行い、卒業後の進路先へのスムーズな移行に資する。	所内研究 (協力校)
教科等の指導の充実	5	全国学力・学習状況調査に関する研究	愛知県の学力・学習状況調査の結果を分析し、義務教育の充実に係る基礎資料とする。	所内研究 (本庁連携)
	6	県立高等学校教育課程課題研究 (国語)(地歴、公民)(数学) (理科)(英語)(情報) (産業教育(農業、水産)(工業) (商業)(家庭、看護、福祉))	高等学校教育課と総合教育センターとの共催の事業である。 学校における教科指導の現状把握と指導上の課題等について研究する。	共同研究 (研究員・本庁連携)
	7	情報教育の充実に係る研究 (ICT授業活用に関する研究)	学習者中心の学びの実践を通して、児童生徒がより主体的・対話的で深い学びへ向かうように、ICTの特性を把握し、効果的・効率的な場面でのICTの利活用について研究・実践を行う。研究成果を総合教育センターのコンテンツとして公開する。	共同研究 (協力委員・大学連携)

2 研究のまとめと発表方法

(1) センター研究発表会

喫緊の教育課題に関する講演及び研究成果の発表会（研究発表及び研究協議等）を開催し、日々の教育活動の改善・充実・発展に資する。（令和6年11月29日（金）開催予定）

(2) 研究紀要 第114集（総合教育センター研究部ウェブサイト掲載）

3 教育研究サポートデスク

(1) 目的

当センターでは、従来から研究部・図書資料室を窓口として教育関係資料の充実を図り、教育関係者の研究・研修を支援している。教育研究に関する相談について、より迅速かつ丁寧に対応するため、教育研究サポートデスクを設ける。

(2) 主な業務内容

ア 教育研究に関する相談業務

教育研究の進め方、まとめ方等についての相談に応じる。

イ 資料紹介

教育課題や教育研究、授業改善等の相談に関連する書籍や先行研究等の資料を紹介する。令和5年度からは、「センターコンテンツ表記上の統一事項」についても資料紹介として受け付け、紹介する。

ウ 出前講座

センターの研究成果を活用し、所員が学校等へ出向き、研修を支援する。

教育関係職員研修事業

教育関係職員として、常に学び続ける姿勢をもち、自立的かつ主体的な研修に努め、教職員としての資質・能力の向上を図るとともに、学校組織全体としての指導力向上を図るため、初任者から中堅者、管理職まで教職員のキャリアステージに応じた体系的かつ効果的な研修を実施する。

1 研修・講座一覧（*予定人数は、令和6年3月末現在のものである。）

(1) キャリア・アップ研修

「学び続ける教員」を育成するため、研修体系の幹となるものとして位置付けられるものが「キャリア・アップ研修」である。教職経験に応じて教員としての基本的な資質・能力の向上を図る＜教員の基礎づくりのための研修＞と、キャリアに応じた職責遂行に必要な能力や専門性を高める＜職務に関する研修＞がある。

ア 初任者研修

番号	研修名	ねらい	予定人数	日数
1	小学校初任者研修	新任の教員に対して、現職研修の一環として、1年間の研修を実施し、必要とされる素養、指導力、マネジメント力といった資質・能力を養うとともに幅広い知見を得る。	500	9
2	中学校初任者研修		250	9
3	高等学校初任者研修		260	12
4	特別支援学校初任者研修		140	12

イ 新規採用者研修

番号	研修名	ねらい	予定人数	日数
5	新規採用養護教諭研修	新規採用の教員に対して、現職研修の一環として、1年間の研修を実施し、必要とされる素養、指導力、マネジメント力といった資質・能力を養うとともに幅広い知見を得る。	50	10
6	新規採用栄養教諭研修		10	10
7	県立学校新規採用実習教員・寄宿舎指導員研修		20	2
8	幼稚園等新規採用教員研修		65	9

ウ 2年目教員研修

番号	研修名	ねらい	予定人数	日数
9	小学校2年目教員研修	初任者研修を受講した教職経験2年目の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の全教員、新規採用養護教諭研修、新規採用栄養教諭研修を受講した教職2年目の高等学校、特別支援学校の養護教諭、特別支援学校の栄養教諭を対象に、経験に即した体系的な研修の一環として、教育上の課題に対応し得る内容について研修を行い、資質・能力の向上を図る。	600	1
10	中学校2年目教員研修		270	1
11	高等学校2年目教員研修		220	1
12	特別支援学校2年目教員研修		85	1

エ 小中学校3年目教員研修

番号	研修名	ねらい	予定人数	日数
13	小学校3年目教員研修	初任者研修を受講した教職経験3年目の小学校、中学校、義務教育学校の全教員を対象に、経験に即した体系的な研修の一環として、採用後の2年間を振り返り、愛知の公教育を担う者としての立場や役割及び使命を再認識させるための研修を行う（養護教諭、栄養教諭は対象外）。	520	1
14	中学校3年目教員研修		260	1

オ 県立学校3年目教員研修

番号	研修名	ねらい	予定人数	日数
15	高等学校3年目教員研修	愛知県における教職経験が3年目の県立学校全教員を対象に、経験に即した体系的な研修の一環として、採用後の2年間を振り返り、愛知の公教育を担う者としての立場や役割及び使命を再認識させるための研修を行う。とりわけ、不祥事防止の決意を確かなものとし、服務規律のいっそうの確保を図る。	200	1
16	特別支援学校3年目教員研修		80	1

カ 中堅教諭等資質向上研修（【後期】については受講の弾力化MS含む）

番号	研修名	ねらい	予定人数	日数
17	幼稚園等中堅教諭資質向上研修		60	4
18	小学校中堅教諭資質向上研修	前期	490	3
		後期	400	5
19	中学校中堅教諭資質向上研修	前期	240	3
		後期	320	5
20	高等学校中堅教諭資質向上研修	前期	250	3
		後期	280	5
21	特別支援学校中堅教諭資質向上研修	前期	130	3
		後期	110	5
22	中堅養護教諭資質向上研修	前期	50	3
		後期	40	5
23	中堅栄養教諭資質向上研修	前期	20	3
		後期	10	5

中堅教諭等資質向上研修【後期】＜受講の弾力化M（マネジメント等の研修）＞について

番号	研修名	ねらい	予定人数	日数
18	小学校中堅教諭資質向上研修	中堅教諭資質向上研修【後期】の研修内容を2つに分割し、定員の範囲内で、学校の事情や本人の希望を踏まえ、1年前倒しにより在職期間が9年を経過した教員が受講することも可能とするものである。Mのみ前倒しで受講、Sのみ前倒しで受講、MS両方を前倒しで受講のいずれかを選択して受講することができる。	30	3
19	中学校中堅教諭資質向上研修		20	3
20	高等学校中堅教諭資質向上研修		30	3
21	特別支援学校中堅教諭資質向上研修		15	3
22	中堅養護教諭資質向上研修		5	2
23	中堅栄養教諭資質向上研修		5	2

中堅教諭等資質向上研修【後期】＜受講の弾力化S（教科指導・専門領域等の研修）＞について

番号	研修名	ねらい	予定人数	日数
18	小学校中堅教諭資質向上研修	中堅教諭資質向上研修【後期】の研修内容を2つに分割し、定員の範囲内で、学校の事情や本人の希望を踏まえ、1年前倒しにより在職期間が9年を経過した教員が受講することも可能とするものである。Mのみ前倒しで受講、Sのみ前倒しで受講、MS両方を前倒しで受講のいずれかを選択して受講することができる。	20	2
19	中学校中堅教諭資質向上研修		15	2
20	高等学校中堅教諭資質向上研修		35	2
21	特別支援学校中堅教諭資質向上研修		10	2
22	中堅養護教諭資質向上研修		5	3
23	中堅栄養教諭資質向上研修		5	3

キ 職務に関する研修

学校及び園において、さまざまな職務を担当する教員等を対象とする研修である。学校経営に関する資質・能力や、職務に応じた職責遂行のために必要な知識・技能等の向上を図ることを目的とする。

番号	研修名	ねらい	対象者	予定人数	日数
24	小中学校初任者研修拠点校指導教員研修	初任者研修についての共通理解を図るとともに、校内研修上の諸問題及び初任者への指導の在り方についての研修を行い、資質の向上を図る。	小・中・義務教育学校の拠点校指導教員（第1日のみ、東三河教育事務所と合同開催）	250	4
25	特別支援学校初任者研修拠点校指導教員研修	初任者研修における拠点校方式への共通理解を図るとともに、初任者に対する指導上の諸問題及び指導法についての研修を行い、資質の向上を図る。	特別支援学校の拠点校指導教員	20	6
26	特別支援学級担当教員初心者研修	特別支援学級の運営や指導上の諸問題及び指導法についての研修を行い、資質・能力の向上を図る。	小・中・義務教育学校の特別支援学級を初めて担当する教員全員（集合研修は東三河教育事務所管内の対象者を除く）	420	1

番号	研修名	ねらい	対象者	予定人数	日数
27	通級指導担当教員初心者研修	通級指導教室の運営や指導上の諸問題及び指導法についての研修を行い、資質・能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 小・中・義務教育学校の通級による指導を初めて担当する教員全員 高等学校の通級による指導担当教員のうち、参加を希望する教員 盲・聾学校の通級による指導担当教員の初心者のうち、参加を希望する教員 	120	1
28	高等学校実習教員研修A：理科コース	講義・実習を通して、実習教員として必要な知識・技術を習得し、資質・能力の向上を図る。	高等学校の理科の実習教員 【理科】 ○地区ごとに人数を指定	16	1
	高等学校実習教員研修B：農業・水産コース	刈払機の操作やトラクタ・施工用機械等の運転を通して安全教育を実施し、基本的な機械操作や取り扱い技術の習得をする中で、生徒実習指導時及び農場管理時の安全意識の高揚を図る。また、実習教員としての使命と職責について理解を深める。	高等学校の実習教員 【農業・水産】 ○地区ごとに人数を指定	13	1
	高等学校実習教員研修C：工業コース	講義・実習を通して、実習教員として必要な知識・技術を習得し、資質・能力の向上を図る。	高等学校の実習教員 【工業】 ○地区ごとに人数を指定 ○実習教員としての経験年数がおおむね5年から15年までの者を対象とし、過去に本研修を受講していない者を優先する（地区に過去に受講済の教員しかいない場合はこの限りでない）。	13	1
29	県立学校新任生徒指導主事研修	当面する生徒指導上の諸問題について、講義、演習、情報交換等を通じて、共通理解を深め、生徒指導を担当する教員の資質・能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校、特別支援学校（高等部）の新任生徒指導主事全員 特別支援学校（中学部）の新任生徒指導主事のうち、参加を希望する教員 	50	2 ※2日とも午後日程、初日はオンラインで実施
30	中学校新任進路指導主事研修	オンラインにて、進路指導に関する諸問題についての講義・研究協議を行い、資質・能力の向上を図る。また、eラーニングで中央研修の受講報告等を視聴し、キャリア教育に関する基本方針等について共通理解を深める。	中学校・義務教育学校の新任進路指導主事全員	100	1 ※午後日程オンラインで実施
31	県立学校新任進路指導主事研修	進路指導に関する諸問題についての講義・研究協議を行い、資質・能力の向上を図る。また、eラーニングで中央研修の受講報告等を視聴し、キャリア教育に関する基本方針等について共通理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校、特別支援学校（高等部）の新任進路指導主事全員 特別支援学校（中学部）の新任進路指導主事のうち、参加を希望する教員 	60	2 ※2日とも午後日程、初日はオンラインで実施
32	小中学校新任教務主任研修	学校教育が抱える今日的課題についての講義や研究協議、教育法規演習などを通して、教務主任としての資質・能力の向上を図る。	小・中・義務教育学校の新任教務主任全員（集合研修は東三河教育事務所管内の対象者を除く）	200	2
33	県立学校新任教務主任研修	学校教育が抱える今日的課題についての講義や研究協議、教育法規演習などを通して、教務主任としての資質・能力の向上を図る。	県立学校の新任教務主任全員（特別支援学校については、高等部に限らない）	80	2

番号	研修名	ねらい	対象者	予定人数	日数
34	産業教育学科主任研修	産業教育の抱える今日的な課題についての講義や協議を通して、産業教育学科主任としての資質・能力の向上を図る。	各学校 大学科1名(全日制と専攻科を合わせて1名) (ア)定時制については、【工業】城北つばさ・刈谷東、【商業】瀬戸工科が参加する。それ以外は任意参加とする。 (イ)総合学科については、【工業】鶴城丘、【農業】鶴城丘・新城有教館が参加する。それ以外は任意参加とする。 (ウ)特別支援学校高等部及び豊橋市立については任意参加とする。 ※同一人物が毎年参加となる学校に限り、学科(系列)主任の候補となる代理参加を可とする。	100	1
35	特別支援学校部主事研修	学校運営に関する諸問題について広く研修し、部主事としての資質・能力の向上を図る。	特別支援学校の部主事全員	102	1
36	園長等運営管理研修	幼稚園教育要領等に基づいた教育内容、当面する幼児教育の諸問題、園長等に対する園運営・管理の専門的な事項について研修し、管理職や指導者としての資質・能力の向上を図る。	公私立幼稚園の園長、公私立保育所の所長、公私立認定こども園の園長、市町村の保育行政担当者(名古屋市を含む)	55	1
37	小中学校新任教頭研修	当面する学校教育の諸問題及び服務、地域との連携、人権教育、教育法規等について研修し、教頭としての視野を広め、経営能力及び指導力の向上を図る。	小・中・義務教育学校の新任教頭全員(集合研修は東三河教育事務所管内の対象者を除く)	150	1
38	小中学校新任校長研修	当面する学校教育の諸問題及び服務、地域との連携、人権教育、組織マネジメント等について研修し、校長としての視野を広め、経営能力及び指導力の向上を図る。	小・中・義務教育学校の新任校長全員(集合研修は東三河教育事務所管内の対象者を除く)	120	1
39	県立学校新任教頭研修	教頭の職務・役割について理解を深めるとともに、管理職としての経営能力や指導力の向上を図る。	県立学校の新任教頭全員	70	1
40	県立学校新任校長研修	時代の変化に対応した新しい学校づくりの手法を身に付けるとともに、学校経営者として総合的な組織マネジメント能力の向上を図る。	県立学校の新任校長全員	50	1
41	公立学校の臨時教員等研修	服務や人権教育、教育公務員としての在り方について研修し、資質の向上を図る。	県立学校の臨時教員等	400	1
42	指導改善研修	「指導が不適切な教員」として認定された者に対して、学校への復帰を第一の目的とした適切な研修を実施し、意識の改善や力量の向上を図る。	小・中・義・高・特	1	1年

(2) リーダー研修

教育の諸課題に対する理解や実践力を高め、学校や地域の教育をリードするリーダー教員養成のための研修である。研修後は、個人の資質・能力の向上だけでなく、自校や地域に研修成果を還元し、専門的な知見を広めることを目的とする。47～53の研修に応募するためには、校長の推薦が必要となる。

番号	講座名	ねらい	対象者	予定人数	日数
43	幼児教育講座	幼児教育に関する専門的な講義や協議を行い、幼児教育の振興及び充実を図る。	【公私立幼・保・認定こども園】教員、保育士、保育教諭 【特別支援学校幼稚部】教員(自由応募)	300	2

番号	講座名	ねらい	対象者	予定人数	日数
44	保育技術講座	講義や研究協議等によって、子どもの発達課題や特性に応じた保育を進めるために必要な専門技術を身に付け、指導力の向上を図る。	【国公立幼稚園】 主任（主査）及び中堅教員 【公立保育所】 主任及び中堅保育士 【公立認定こども園】 主任及び中堅教員、保育士、 保育教諭 【特別支援学校幼稚部】 中堅教員（自由応募）	55	2
45	道徳推進講座	道徳科についての講義や研究協議を通して、道徳教育、心の教育のいっそうの充実を図る。	【公立幼稚園】 主任及び教諭 【私立幼稚園・公立認定こども園】 主任及び教員、保育教諭（自由応募） 【小・中・義】 道徳教育推進教師（地区指定）	70	1
46	外国人児童生徒教育講座	講義、演習、研究協議などを通して、外国人児童生徒教育に必要な知識や技能を習得し、資質・能力の向上を図る。	【小・中・義・高・特】 外国人児童生徒教育担当教員及び担当する可能性のある教員で、過去に本講座を受講していない者 ※地区ごとに人数を指定（自由応募あり）	56	2
47	教育研究リーダー養成研修	理論的・実践的な教育研究を通して、課題解決能力と同僚性の構築力を身に付けたミドルリーダーの育成を目指す研修を行う。	【小・中・義】 校長、市町村教育委員会教育長及び教育事務所長の推薦を受けた者	20	10
			【高、特】 校長の推薦を受けた者	13	
48	県立学校運営講座	学校経営の視点から、教育法規や財務事務、主任の立場から見た学校の課題とその対応等について研修を行い、主任として求められる資質の向上と幅広い視野に立った教育観の確立を図る。	【高・特】 校長の推薦を受けた者	80	2
49	教育相談特別研修	総合教育センター及び愛知教育大学において、教育相談に関する研究を通して研修を行う。	【高】 教職経験がおおむね10年から20年の者で、校長が認めた者	3	1年
50	小中学校社会体験型教員研修	豊かな見識と広い視野に立った教育力を培わせ、新たな教育を推進するリーダーの養成を図る。教員に学校以外の諸施設で、多様な体験を積み重ね、企業等の人材育成、人事管理等を学び、学校運営に生かす。社会の構成員としての視野を広げ、「持続可能な社会の創り手」を育成する学校づくりに役立てる。	【小・中・義】 校長の推薦を受けた者	3	1年
51	大学院及び教職大学院派遣研修	現職のまま、愛知教育大学または新教育大学（兵庫、上越、鳴門）において、長期間にわたって研修・研究を行う。	【小・中・義・特】 校長の推薦を受けた者	24	2年
52	愛知教育大学特別支援教育特別専攻科内地留学研修	特別支援教育分野の専門的知識や技術を習得し、資質・能力の向上と指導力の充実を図る。	【小・中・義・特】 校長の推薦を受けた者	4	1年
53	国立特別支援教育総合研究所特別支援教育専門研修	特別支援教育分野の専門的知識や技術を習得し、資質・能力の向上と指導力の充実を図る。	【小・中・義・特】 校長の推薦を受けた者	4	2か月程度 ※オンライン及び現地における研修

(3) スキル・アップ研修

教員としての専門的な知識・技能を補完し、進展させる研修であり、受講希望者を対象とする自由応募制による研修である。一部、地区または学校ごとに人数を指定する講座（地区指定分）がある。

番号	講座名	コース記号・コース名		対象者	予定人数	日数
54	看護科講座			高（高校中堅研【前期】と合同開催）	40	1
55	学校農園活用講座			幼・小・中・義・高・特	20	1
56	安全教育実技講座（フォークリフト運転業務特別教育講習）			高・特	10	2
57	農業技術講座	A	パワーアシストスーツの活用について	幼・小・中・義・高・特	20	1
		B	農作業管理機械の基礎	高（農業高校関係）	25	1
58	特別支援教育講座	A	自立活動セミナー1	幼・小・中・義・高・特	70	1 ※集合研修（終日） またはオンライン （午前のみ）
		B	自立活動セミナー2	幼・小・中・義・高・特	70	1 ※集合研修（終日） またはオンライン （午前のみ）
		C	自立活動セミナー3	幼・小・中・義・高・特	40	1
		D	アセスメントセミナー	幼・小・中・義・高・特	70	1 ※集合研修（終日） またはオンライン （午後のみ）
		E	ICT活用セミナー	幼・小・中・義・高・特	30	1 ※集合研修（終日） またはオンライン （午前のみ）
59	学級・学年づくりに生かす教育相談講座			小・中・義・高・特	40	2
60	今日的課題に対応する教育相談講座			小・中・義・高・特	40	2
61	教育相談コーディネーター養成講座			小・中・義・高・特	40	2
62	特別支援学校におけるセンタースタッフの機能強化講座	A	ベーシック	特	30	2 ※第1日はオンライン
		B	アドバンス	特	30	1
63	あいちクラスルーム・エバンジェリスト養成研修			高・特	30	3
64	ICT活用実践講座			小・中・義	80	1

< eラーニング単独講座 >

番号	講座名	対象者	学習期間
e01	小学校社会科講座～授業構想の工夫～	全教職員	7/1～2/28
e02	小学校算数科講座～授業構想の工夫～		
e03	小学校理科講座～授業構想の工夫～		
e04	小学校体育科講座～授業構想の工夫～		
e05	小学校音楽科講座～授業構想の工夫～		
e06	中学校理科講座～授業構想の工夫～		
e07	中学校保健体育科講座～授業構想の工夫～		
e08	中学校音楽科講座～授業構想の工夫～		
e09	高等学校国語科講座～授業構想の工夫～		
e10	高等学校地理歴史・公民科講座～授業構想の工夫～		
e11	高等学校数学科講座～授業構想の工夫1～		
e12	高等学校数学科講座～授業構想の工夫2～		

番号	講座名		対象者	学習期間	
e13	高等学校理科講座～授業構想の工夫～		全教職員	7/1～2/28	
e14	高等学校英語科講座～授業構想の工夫～				
e15	高等学校情報科講座～情報Ⅰ「プログラミング」～				
e16	生活科講座～基礎・基本から考える～				
e17	小学校英語の基礎講座				
e18	理科観察・実験指導基礎講座				
e19	道徳教育講座～考え議論する道徳～				
e20	主権者教育推進講座				
e21	高等学校におけるキャリア教育の進め方講座				
e22	総合的な学習の時間講座～探究の扉を開く～				
e23	「国際英語」教育の理論と実践講座				
e24	Integrating Language & Content in an English Class				
e25	産業教育における評価の在り方講座				
e26	産業教育における金融経済教育の進め方講座				
e27	教育評価の在り方講座				
e28	オンライン教育の在り方講座				
e29	情報モラル教育講座				
e30	教師のための情報危機管理講座				
e31	カリキュラム・マネジメント講座				
e32	効果を上げる授業研究の在り方講座				
e33	校内研修と授業研究の効果的な進め方講座				
e34	E S D推進講座				
e35	愛知の特別支援教育基礎講座				
e36	発達障害の理解と支援講座	A			発達障害の理解① ～基礎的な理解と具体的な支援～
		B			発達障害の理解② ～発達障害と他の精神的問題とを見分けるために～
		C			行動への支援① ～行動をどのようにとらえるか～
		D			行動への支援② ～支援方法を考えるときに重要なこと～
		E			感情マネジメント ～自分の感情と上手く付き合うための方法～
e37	視覚障害の理解と支援講座				
e38	聴覚障害の理解と支援講座				
e39	児童生徒の強みを生かす教育相談講座				
e40	いじめの組織的な未然防止講座				
e41	不登校支援と予防講座～多様な背景を踏まえた学校での支援と予防～				
e42	性の多様性の理解推進講座				
e43	外国人児童生徒教育基礎講座～現状と課題～				
e44	特別支援教育における教育課程講座				
e45	教育相談の心得講座～個別面談に際して～				
e46	組織的な教育相談のための力量向上講座				
e47	通級による指導・支援の在り方講座				
e48	肢体不自由児の理解と支援講座				
e49	「チーム学校」を生かす教育相談体制づくり講座				
e50	SDGs理解講座	A			SDGs達成に向けたJICAの取組
		B			SDGs達成に向けた学校での実践例
e51	学校安全推進講座	A			子どもの安全と安心を守る
		B			学校における防災管理について

番号	講座名		対象者	学習期間	
e52	地域学校協働活動 推進講座	A	基礎編	全教職員	7/1～2/28
		B	リーダー編		
e53	社会人としてのマナー講座				
e54	職場のメンタルヘルス講座	A	職場のメンタルヘルス ～アルコール依存症を知ろう～		
		B	学校現場の職場ストレスとその対処法		
e55	心が軽くなるコミュニケーション講座				
e56	GIGAスクール構想の在り方講座				
e57	OJT推進講座				

(4) 事務職員等研修

ア 小中学校事務職員研修

番号	研修名	ねらい	対象者	予定人数	日数
J01	新規採用者研修	学校事務職員として必要な基礎的知識や、法制及び実務に関する知識の習得を図る（給与、福利、厚生、服務、地方教育行政制度、税の基礎知識等）。	新規採用者	50	6
J02	中堅者前期研修	中堅職員として必要な幅広い視野と的確な判断力の養成並びに職務遂行能力の向上を図る（基礎的な法律、コミュニケーション、グループワーク等）。	平成29年度採用者	50	3
J03	中堅者後期研修	中堅職員として培った知識と経験を活かし、業務管理能力や企画立案力の向上を図る（組織マネジメント、タイムマネジメント、学校安全、グループワーク等）。	平成26年度採用者	60	3
J04	新任主査研修	主査としての自覚・役割や基本的管理能力の養成を図る（学校運営、服務、部下育成、健康管理、グループワーク等）。	令和6年度昇任者	25	3
J05	現任主査研修	主査として必要な指導力の向上と行政的視野の拡大を図る（リーダーシップ論、コミュニケーション、情報セキュリティ、グループワーク等）。	平成31年度昇任者	20	2
J06	新任事務長・総括事務長研修	事務長としての自覚・役割及び学校経営参画への企画・遂行能力の養成を図る（学校経営論、コミュニケーション、健康管理、グループワーク等）。	令和6年度課長補佐級昇任者	15	2

イ 県立学校用務員等研修

番号	研修名	ねらい	対象者	予定人数	日数
J07	県立学校用務員研修	用務員として必要な学校環境整備、電気及び水道に関する知識・技能の習得を図る。	用務員のうち希望する者	120	1
J08	県立学校図書館関係職員研修	県立学校図書館における図書館資料の利用に関する事務に従事する職員の資質の向上を図る。	図書館事務に従事する事務職員または実習教員のうち希望する者	40	1

2 研修受講者予定数

(1) キャリア・アップ、リーダー、事務職員等研修

(単位：人)

区 分		幼	小	中	義	高	特	その他	合 計
研修人員	教 員 等	339 (267)	3,560 (3,080)	2,004 (1,690)	— (8)	2,034 (1,754)	955 (711)	216 (125)	9,108 (7,635)
	学校事務職員	— (—)	220 (183)			— (—)	— (2)	— (—)	220 (185)
	学校用務員等	— (—)	— (—)			160 (139)		— (1)	160 (140)
	計	339 (267)	5,784 (4,961)			3,149 (2,606)		216 (126)	9,488 (7,960)
研修延人員	教 員 等	903 (658)	11,408 (9,951)	6,566 (5,247)	— (21)	7,016 (6,080)	3,496 (2,373)	707 (428)	30,096 (24,758)
	学校事務職員	— (—)	775 (607)			— (—)	— (9)	— (—)	775 (616)
	学校用務員等	— (—)	— (—)			160 (139)		— (1)	160 (140)
	計	903 (658)	18,749 (15,826)			10,672 (8,601)		707 (429)	31,031 (25,514)

※ 教員等研修のうち長期研修は除く。「その他」は、保育士等。

※ () 内数字は、前年度受講者数。ただし、eラーニング等による代替研修受講者を含む。

(2) スキル・アップ研修

(単位：人)

	令和6年度予定	令和5年度実績						
	合 計	幼	小	中	高	特	その他	合 計
実人数	685	2	173	46	168	161	0	550
延人数	905	2	174	46	273	195	0	690

※ 予定人数及び実績は、eラーニング単独講座を除く。「その他」は、保育士、私立高校等。

教育相談事業

一般教育相談、特別支援教育相談、教育関係職員相談の三分野の相談を実施して、幼児児童生徒・保護者・教職員が抱える多様な課題の解決に向けた適切な支援を行っている。また、今日的課題である発達障害に関する相談にも応じ、障害に起因する困難性の軽減を図っている。

1 一般教育相談

- (1) 利用対象 児童生徒とその保護者及び関係教職員等
- (2) 相談内容 身体・精神、学業、不登校、いじめ、非行、進路・適性、家庭教育、体罰、暴力行為、セクシュアル・ハラスメント等
- (3) 相談日時 月曜日から金曜日（祝日を除く） 午前9時から午後5時まで

2 特別支援教育相談

- (1) 特別な支援を必要とする幼児児童生徒とその保護者及び関係教職員等
- (2) 相談内容 家庭教育、就学、進路・適性、園や学校での支援方法等
- (3) 相談日時 月曜日から金曜日（祝日、年末年始を除く） 午前9時から午後5時まで

3 教育関係職員相談

- (1) 利用対象 教育関係職員
- (2) 相談内容 セクシュアル・ハラスメント
- (3) 相談日時 火・木曜日 午前9時から正午まで

教育情報収集・提供事業

教育活動の充実・改善のために、各種教育情報の収集・提供を行う。

1 総合教育センターから提供する主なコンテンツ

総合教育センター教育研究調査事業等でまとめた研究成果をホームページで公開する。また、コンテンツ作成委員会を組織し、情報発信に関する諸問題について検討して学校教育に資するコンテンツの充実を図っている。

2 愛知県教育情報システム（A I E S）

学校における教育活動を支援するため、教育課題の解決や教育実践に役立つ各種の情報を収集・蓄積し提供する。

(1) 主なデータベース

データベースの分野	主 な 内 容
図書資料室関係情報	図書資料室に保管されている研究論文、教育図書等の情報

(2) 利用方法

センターのホームページ (<https://apec.aichi-c.ed.jp/cms>) から利用できる。

生徒実習事業

農業教育（農業教育共同実習所）

農業教育共同実習所では、県内高等学校の農業に関する学科及び系列で学ぶ生徒を対象として、農業機械に関する基礎的な技術・技能と知識を修得させ、実践力を高めるために、宿泊による集中的・効率的な農業機械実習を行う。

また、希望者に対して農業機械等の運転資格等取得のための講習を行う。

◆農業機械実習

- (1) 実習対象 2年生（9校1校舎・29学級・4系列）
- (2) 予定者数 実人員1,112人、延人員4,051人
- (3) 実習内容 科目「総合実習」等の一環として宿泊を伴う農業機械の基礎実習を行う。

コース名	実習内容	実習日数
農園系学科	トラクタ基本運転（クランク走行・8の字走行・車庫入れ） トラクタ総合運転 トラクタ応用運転（ロータリ耕耘、トレーラ牽引、ホイールローダ、ドラグショベル、フォークリフト）【5機種の中から2機種を選択】 エンジン分解・組立	3泊4日
農土林系学科	トラクタ外周運転 施工機械運転（ブルドーザ、ホイールローダ、ドラグショベル、フォークリフト） 【4機種の中から3機種を選択】 エンジン分解・組立	3泊4日
生食系学科	トラクタ基本運転（クランク走行・8の字走行・車庫入れ） エンジン分解・組立	2泊3日
総合学科 （食農サイエンス系列、園芸デザイン系列、アグリサイエンス系列）	トラクタ基本運転（クランク走行・8の字走行・車庫入れ） エンジン分解・組立	2泊3日
総合学科 （環境デザイン系列）	トラクタ基本運転（クランク走行）、施工機械運転（ドラグショベル、ホイールローダ） エンジン分解・組立	2泊3日

◆資格取得講習

- (1) 実習対象 3年生及び2年生の希望者
- (2) 予定者数 実人員234人、延人員308人
- (3) 実習内容 卒業後社会で生かせる資格が取得できる講習を長期休業中に行う。

コース名	対象学年	講習日数	備考
小型車両系建設機械（3t未満）特別教育	3年生	2日（3回）	労働安全衛生規則に定める特別教育として行う（修了証交付）。
フォークリフト（1t未満）特別教育	3年生	2日（7回）	
刈払機安全衛生教育	3年生	1日（2回）	刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育実施要領に定める安全衛生教育として行う（修了証交付）。
大型特殊自動車運転技能講習	3年生	2日（2回）	大型特殊自動車運転免許取得のため運転免許試験場で受験する。
農業機械技術検定1級実技試験	2年生	1日（3回）	農業機械技術検定（筆記）の1級合格者を対象とする。

その他

1 図書資料室

- (1) 内 容 教育関係図書、研究紀要・研究報告書、雑誌、教科書、その他教育関係資料
- (2) 開館日時 月～金曜日 午前9時～午後5時
- (3) 貸し出し 一人5冊以内、期間1か月以内（対象は、一部を除く教育関係図書）
- (4) 短期貸し出し 一人5冊以内、期間1週間以内（対象は、一部を除く研究紀要・研究報告書、雑誌）

2 教育史資料室

愛知県教育史編さん事業にかかる資料の収集と管理

3 大学との連携

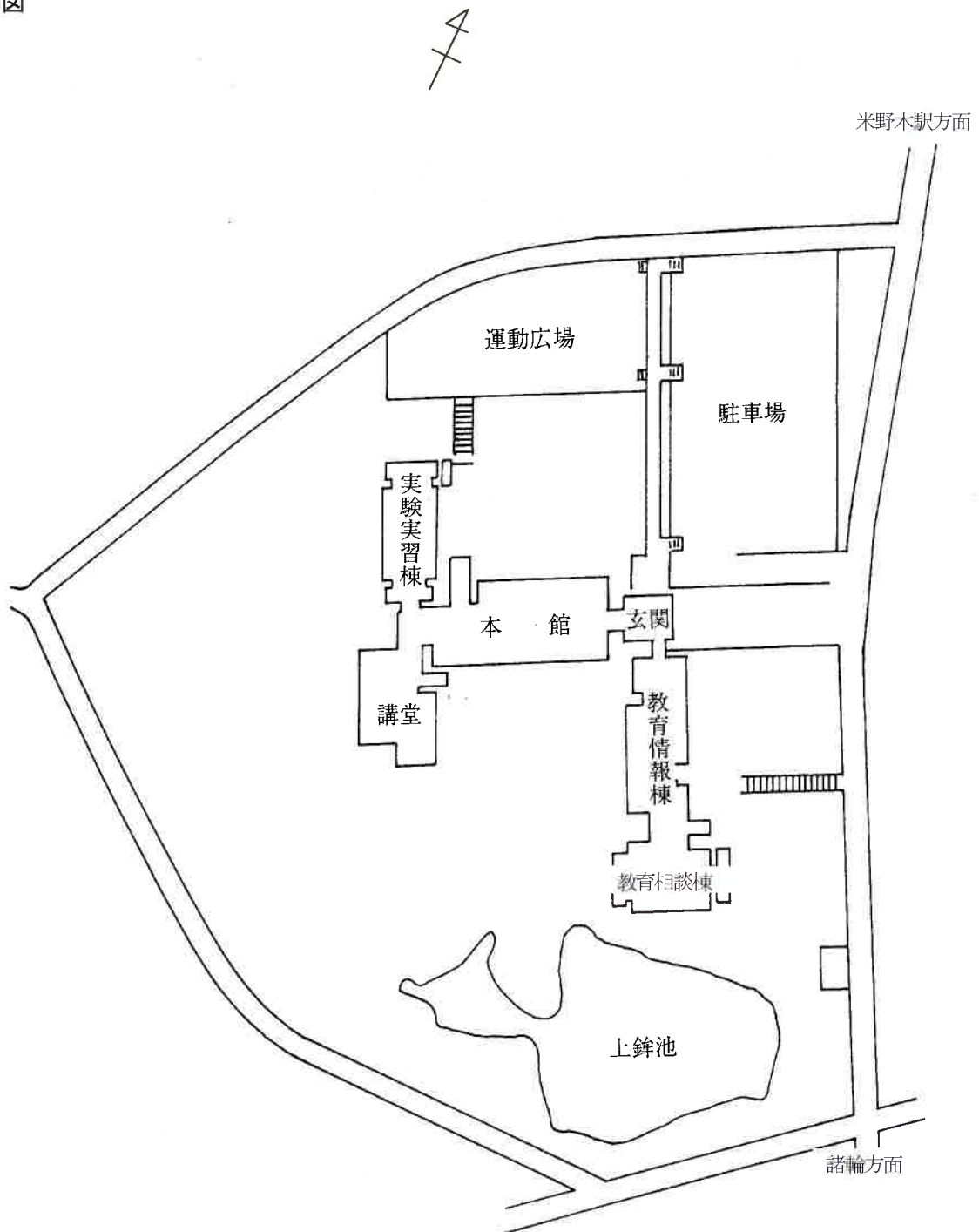
教育的な連携を目的として総合教育センターと県内の大学とが協力し、基礎的・実践的研究等を行い、その成果を生かして大学及び愛知県相互の教育の充実・発展を図る。

令和5年4月1日現在、愛知教育大学、愛知淑徳大学、金城学院大学、名古屋大学大学院教育発達科学研究科・教育学部、愛知県立大学と協定を締結している。

施設概要

敷地面積	125,565.00 m ²
建物面積	本館はじめ7棟 延べ21,005.80 m ²
運動広場	6,500 m ²
駐車場	7,560 m ² 281台収容

配置図

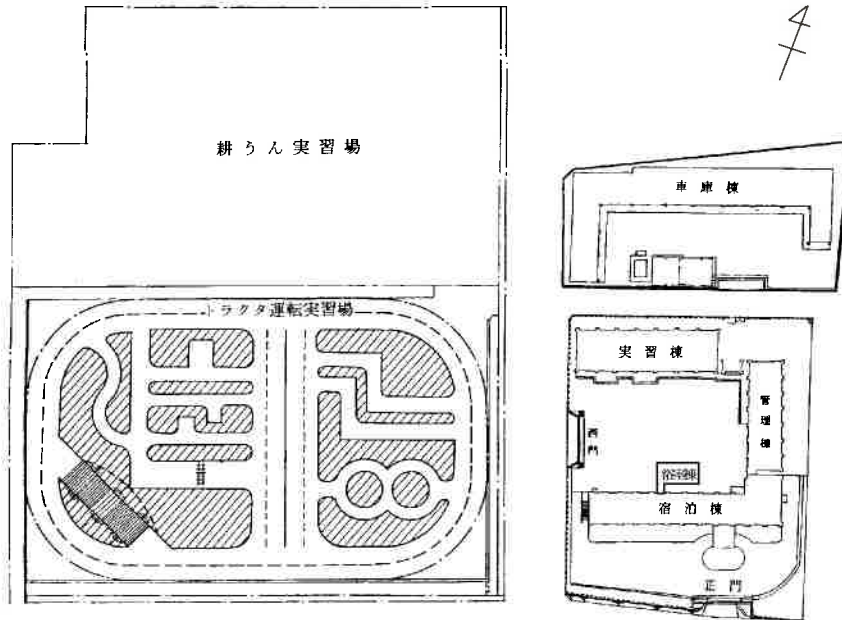


愛知県総合教育センター農業教育共同実習所 施設概要・案内図

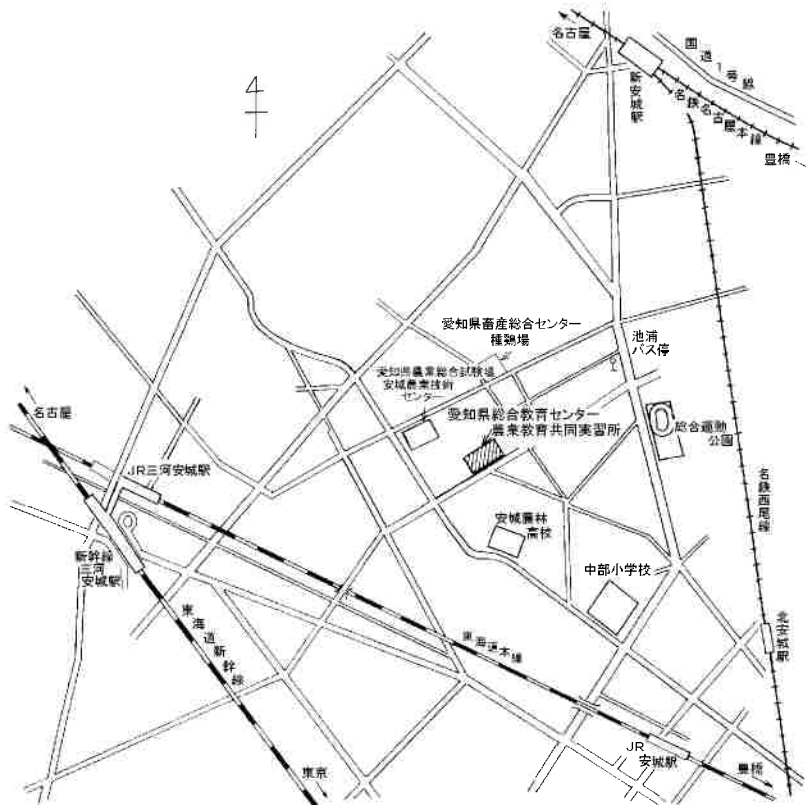
敷地面積 18,314.31 m²

建物面積 管理棟はじめ7棟 延べ2,094.01 m²

配置図



案内図



交通案内

- 名鉄本線「新安城」駅下車、
名鉄バス「安城更生病院」行き（J
R安城駅経由）「池浦」下車、南西
へ900m
- JR東海道本線「安城」駅下車、
名鉄バス「新安城」行き「池浦」
下車、南西へ900m
- JR新幹線・東海道本線「三河
安城」駅下車、東へ1800m

愛知県総合教育センター 利用案内

- 1 研究についての問い合わせ [経営研究室 (0561)38-9503]
[教科研究室 (0561)38-9504]

※教育研究サポートデスクを設置しています。

- 2 研修についての問い合わせ [企画研修室 (0561)38-9506]
[基本研修室 (0561)38-9507]

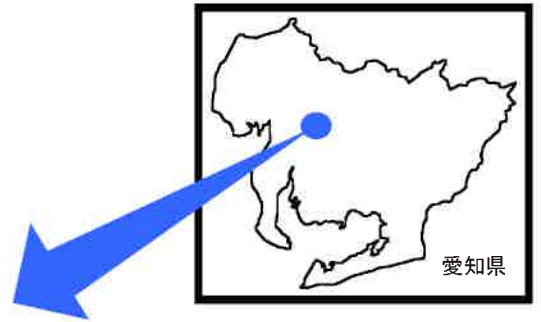
3 教育相談

- (1) 一般教育相談 [教育相談研究室 (0561)38-2217]
児童生徒とその保護者及び関係教職員等を対象に行っています。
- (2) 特別支援教育相談 [特別支援教育相談研究室 (0561)38-9517]
特別な支援を必要とする幼児児童生徒とその保護者及び関係教職員等を対象に行っています。
- (3) 教育関係職員相談 [教育相談研究室 (0561)38-2217]
教育関係職員を対象に行っています。

- 4 図書資料 [図書資料室 (0561)38-9513]
図書資料等の閲覧、貸出し及び文献検索サービスを行っています。

* 閉庁日（土曜日、日曜日、祝日、12月29日～1月3日）

愛知県総合教育センター



交通案内 (主な経路)

